

# スマートコミュニティの取り組み

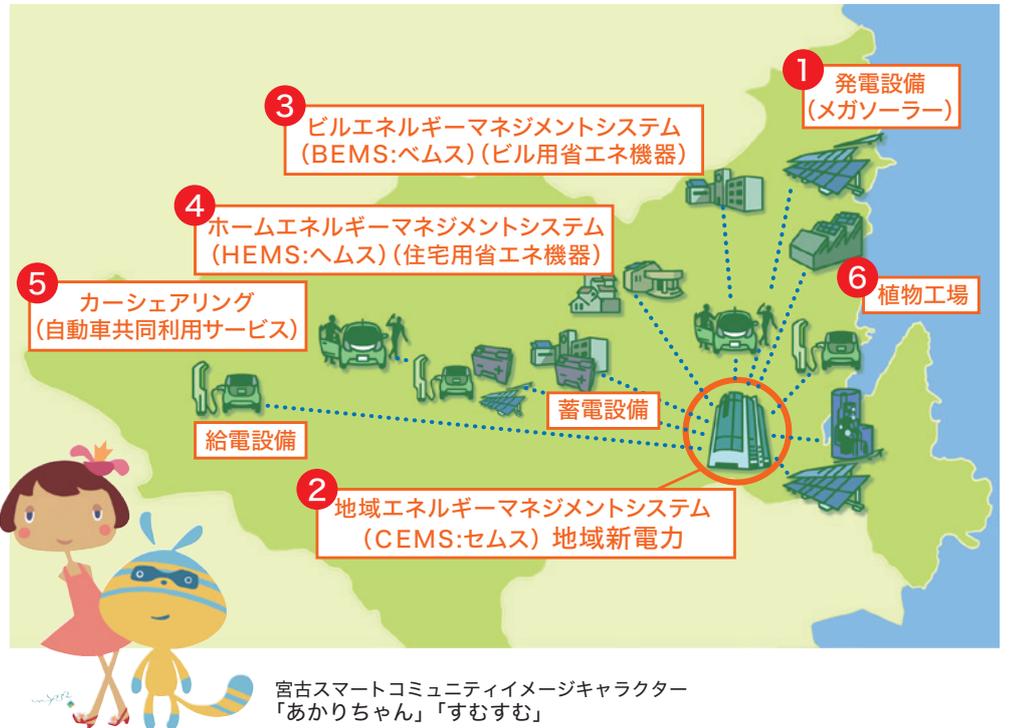
情報通信技術を活用しながら、再生可能エネルギーを利用し、家庭やオフィス、工場など社会全体で、エネルギーを無駄なく有効に活用する仕組みを「スマートコミュニティ」と呼びます。

## 目指す姿 ～「再生可能エネルギーの地産地消」の実現へ～

「地産のエネルギー」を「地域で無駄なく賢く使う（地消）」仕組みの構築を目指しています。

具体的には、次のような計画があります。

- 太陽光による再生可能エネルギーを創出します(①)。
- セムス(②)と各機器(③・④)とのネットワーク化を図り、エネルギーの需給バランスを管理します。
- 省エネ機器(③・④)を導入し、ビルや住宅などで、効率的なエネルギー利用を図ります。
- 地産エネルギーを利用したカーシェアリング(⑤)や植物工場(⑥)など新しい事業を創出します。
- カーシェアリングの車両は、災害時の非常用電源として避難所などで活用します。



宮古スマートコミュニティイメージキャラクター「あかりちゃん」「すむすむ」

## 取り組み・実施体制



カーシェアリングの宮古駅前ステーション

平成24(2012)年度に策定した計画に基づき事業を進めています。

事業は民間企業が主体となりますが、公共性や公益性が高いため、市は地元調整など環境整備の役割を担いながら、官民一体で取り組んでいます。

- 事業化第1号：カーシェアリング(平成26(2014)年4月1日～)
- 事業化第2号：メガソーラー(津軽石…平成27(2015)年9月15日～ / 田老…10月15日～)
- 新電力(電力供給・省エネサービス等)  
植物工場も順次事業化予定



田老地区のメガソーラー

### 実施体制

※平成27(2015)年11月現在の計画

